本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒　【寛容】明朗で思いやりのある生徒　【挑戦】健康でたくましい生徒
〈重点目標〉自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒　～夢の実現～

原町三中だより

令和４年５月２０日（金）
第７号
発行責任者
校　長　志賀　嘉津美
電話　２２－３８０２

スタントマンによる自転車交通安全教室を実施します

福島県警察本部によりますと、令和３年中に発生した事故において、中高生の被害は歩行者が１３．３％、自動車乗車中が２２．８％、**自転車利用中が６１．４％**となっており、自転車利用中の受傷者の多くは**通学中に事故**に遭っています。

そうしたことから本校では、生徒に自転車交通事故の危険性を再確認させることを目的として、スタントマンが危険な自転車走行に伴う交通事故の場面を再現し、目の前で起こる事故の危険性を疑似体験できるスケアード・ストレイト教育技法を取り入れた自転車交通安全教室を下の日程で開催します。

日時：令和４年５月２５日（水）
１３：３０～１５：００頃まで
場所：原町第三中学校　校庭

これは、ＪＡふくしま未来様・ＪＡ共済連福島様の主催及び福島県警察本部・南相馬警察署の共催により実施できる企画です。

この教育技法は、事故や衝撃の怖さを実感させることで、ルールやマナー違反が事故を招く危険性があることを考えさせ、自転車交通ルールの理解と実践につなげるものです。生徒の皆さんに「怖さ」を与える指導法ですが、「自転車に乗る」ということは常に事故と隣り合わせであることから『命の大切さ』を最優先し、本教室を開催することにしました。スタントマンの方が実演する疑似交通事故といっても、目の前でそれが起こるわけですから、人によっては目にしたくない場面もあるかも知れません。生徒によっては見学が難しいという場合は、無理に参加はさせないようにいたします。また、保護者の皆様の中でも、見学を希望される方（指定した場所での見学になります）がいらっしゃいましたら、電話で直接学校までご連絡いただきたいと思います。**※原町三中：TEL 22-3802**

「ランドセルリレーギフト」へのご協力をお願いいたします

先日、株式会社ホンダセンターウメダ代表取締役　梅田様がご来校され、現在、取り組まれている「ランドセルリレー～ありがとうランドセルギフト」活動への協力の依頼がありました。

この活動は、中学校に入学して使わなくなったランドセルを経済や環境が厳しい状況下の新興国（アフガニスタン）の子ども達に寄贈し、子どもたち、特に教育の機会に恵まれない女の子の就学に役立てる国際支援活動です。ランドセルは、女性のいのちと健康を守るために活動している日本生まれの国際協力 NGO ジョイセフ様を通じて現地に送られます。プロ野球ソフトバンクホークスの和田毅投手が自信の投球成に応じてアフリカの子ども達にワクチンを送る取組（勝利投手になれば２０本、完封勝利で４０本ワクチンを送る活動）に感銘を受けていた梅田様が、この「ランドセルリレー」の国際貢献活動を知り、協力を始めたそうです。「６年間ありがとう。思い出が詰まった君のランドセルをもう一度、世界の国で輝かせよう」というキャッチフレーズのもと、賛同していただける方々に協力をいただきたいとのことでした。

本校の生徒会でも、「世界の子どもにワクチンを！」を目的にエコキャップ回収運動を通して開発途上国の子ども達へワクチン等を送る活動に協力しています。同じ目的をもった梅田様の活動に賛同し、学校だよりで保護者や地域の皆様にお知らせをしたところです。この活動は、年間通じて行っているとのことです。賛同される方は、下のHonda Cars南相馬様まで直接連絡をお取りいただきたいと思います。

〈連絡先〉
○鹿島店0244-46-5777
○原町日の出町店 0244-22-5875

この画像は、国際協力NGOジョイセフ様の許諾をいただき掲載しております。